

Music of the Heart

【ミュージック・オブ・ハート—映画／音楽／リスニング—】

Edited by

Yasuko Okino

Kensuke Nanjo

Yuichi Morioka

Miwako Yamashina

Mitsuru Yokoyama

EIHŌSHA

MUSIC OF THE HEART

by

Roberta Guaspari

Copyright © 2000 Miramax Films

Originally published in the United States and Canada by
Hyperion/Talk Miramax Books as MUSIC OF THE HEART

This edition published by arrangement with Hyperion/Talk Miramax Books
through The English Agency (Japan) Ltd.

All rights reserved.

Printed in Japan

はじめに

リスニング力をつけたいというのは英語を学習する誰もの願いだろう。巷にリスニング教材が氾濫するのも無理はない。だが、力んでもなかなか効果は上がらず、ますますフラストレーションがたまるばかり、という経験をした方も多いはずである。それなら、いっそ、リスニングの勉強ということをあえて意識せず、短期間に一本のすぐれた映画を丸ごと鑑賞して充実した英語体験をしてみてもはどうだろう。さらに、いろいろな練習もして、結果的にリスニングの力がついてくれば言うことはない。そんなコンセプトで本書は編まれている。そのために、以下のような工夫をしてみた。

1. 映画が本当に優れたものであること。英語が聞ければよい式の安易な発想はとらない。本書は厳選した作品を始まりから終わりまで追ってテキストにした。この映画はハーレムの子どものヴァイオリン教育に熱心に取り組んだ一教師の実話に基づいた感動作であり、この教科書から発展して原作本の講読へとつなげることもできる。
2. 映画では子ども達の演奏する素朴なヴァイオリンから、ボランティアで見事な演奏を聞かせてくれる世界的演奏家のヴァイオリンさばきまで、音楽愛好家にとってはそれだけで楽しめるし、また、心地よい音色が、すべての学習者を、学習していると身構えさせることなく自然に映画／英語の世界へと引き込んでくれる。
3. 題材のレベルでいうと、本書は中級レベルであって決して易しくはないが、設問やさまざまなヒントによって、誰もがとつきやすく感じられるよう工夫した。Pre-Viewing セクションを充実させ、映画鑑賞に必要な語彙や知識などが自然に身につくよう努力したのはその一例である。
4. 音声に関しては、英語音声学の理論に基づいたきわめて実践的なアドバイスが付されている。あえて網羅的であることを目指すより、簡潔にして要点を押さえた本書の TIPS がどれほど有用かは、学習を終えたときに実感されるはずだと自負している。
5. 文化的背景についても理解が深まるよう、コラムを配するなど工夫を加えた。さらに、写真などもふんだんに盛り込んで、映画の雰囲気が伝わるよう配慮した。

6. 本書は全12のユニットから成り、半期での使用を基本としているが、付録の教材等の活用により、通年の授業で使用されてもいっそう効果が上がるよう構成した。「学生も教師も使いやすい」教科書を作るという精神を忘れることなく、カセット・テープやFDその他の資料を充実させている。
7. 上記の目的をはたすために、本書の編集チームはさまざまな背景をもつ5人で構成されている。英米文学、英語音声学、英語教育学の専門家として研究するのみならず、全員、英語教育を日々、実践する立場にあり、日頃体験する問題などを情報交換しながら、使いやすく楽しいテキストを作るべく、それぞれの立場から貢献したチームワークの成果が本書である。

なお、本書をさらに充実させるために、現場で実際にご使用いただいた先生方から、ご批判、ご意見をお寄せいただければ、著者たちとしてはこれに過ぎる喜びはない。

最後になったが、本テキストの方針に賛同し、出版を勧めてくださった英宝社社長佐々木元氏と編集部宇治正夫氏、ならびに英文校閲をしていただいた神戸大学外国人講師ドウエイン・ファン氏に謝意を表しておきたい。

2002年10月

沖野泰子，南條健助，森岡裕一，山科美和子，横山三鶴
(50音順)

CONTENTS

Unit 1	3
Unit 2	9
Unit 3	15
Unit 4	21
Unit 5	27
Unit 6	33
Unit 7	39
Unit 8	45
Unit 9	51
Unit 10	57
Unit 11	63
Unit 12	69

カナ表記について

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、発音の大体のイメージをつかんでいただくために、本書の LISTENING TIP のセクションでは、あえてカナ表記を用いました。「こんなふう聞こえる」という「聞こえ方」の目安にしてください。カナ表記の中の太字は強く発音される部分を表しています。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表しています。

Music of the Heart

【ミュージック・オブ・ハート—映画／音楽／リスニング—】



5. Your husband ran off with your best friend.

Notes:

Carnegie Hall = a well-known concert hall in NYC, founded in 1890

Heaven forbid! = an expression to emphasize that you very much hope that something will not happen

夫と別居し2人の息子と実家に戻ったロベルタが、旧友ブライアンと偶然再会しストーリーが展開します。



II. First Viewing

Watch the video and decide if each statement is true (T) or false (F). If you choose F, explain what is wrong.



1. Roberta's mother thinks Charles left Roberta because she is not so talented. ()
2. Roberta's mother wants Roberta to find a job. ()
3. Roberta still hopes Charles will come back to her and her boys. ()
4. Brian moved away but is now back in town to write a book. ()

5. Roberta knows Brian wrote a book and she read it. ()
6. Roberta's college professor told her that it was too late to be a concert violinist. ()
7. Roberta moved around a lot because her husband was a journalist. ()
8. Brian suggests to Roberta that she meet an elementary school principal. ()

III. Second Viewing

Watch the video again, then select the correct answer.



1. What does the male supervisor say to Roberta behind the counter?
a) You're so slow. b) You're not Picasso.
c) You look like Picasso.
2. What can you infer from Brian's statement, "I thought you'd be in Carnegie Hall by now?"
a) Roberta wanted to be a music teacher.
b) Roberta was a promising music student.
c) Roberta planned to move to NYC.
3. What did Roberta take a degree in?
a) management b) music history c) teaching
4. How many violins did she buy in Greece?
a) 5 b) 15 c) 50
5. Who did Charles run off with?
a) Roberta's sisiter b) Roberta's friend
c) Roberta's classmate

6. What kind of elementary school does Brian mention?
a) public but alternative b) private but alternative
c) public and old

IV. Dictation

Listen to the tape and fill in the blanks.



Roberta: . . . so my college professor said, um, it was too late. You know? I hadn't ① _____ enough training to be a concert violinist. So I ② _____ degree in, um, teaching (sighs)

Brian: Oh, I'll ③ _____ you're a great teacher.

Roberta: Well, I think I am, but — (stammers) Or I could — I don't know. But see, every time I would get ④ _____ something, Charles would be transferred. And then I had my kids and I took ⑤ _____ to raise them. And then by the time I ⑥ _____ start teaching again, uh, nobody would hire me (chuckling) because, (in normal voice) you know, Navy wife you can't ⑦ _____ to stick around.

Brian: Uh-huh.

Roberta: So, uh, what I decided ⑧ _____ would do is I would start my own program. And Charles gave me the money to, uh, do that. And we were in Greece. I bought fifty violins at ⑨ _____ (chuckling) Greek shop.

Brian: (overlapping) (chuckling) Oh, fifty?

Roberta: And I started, you know, the program at this little private school. And, um . . . And then. . . .

Brian: And then your husband ⑩ _____ with your best friend. (Roberta looks around.)

Roberta: That's right. (clears throat) No. She was not my best friend. She was a friend.

LISTENING TIP

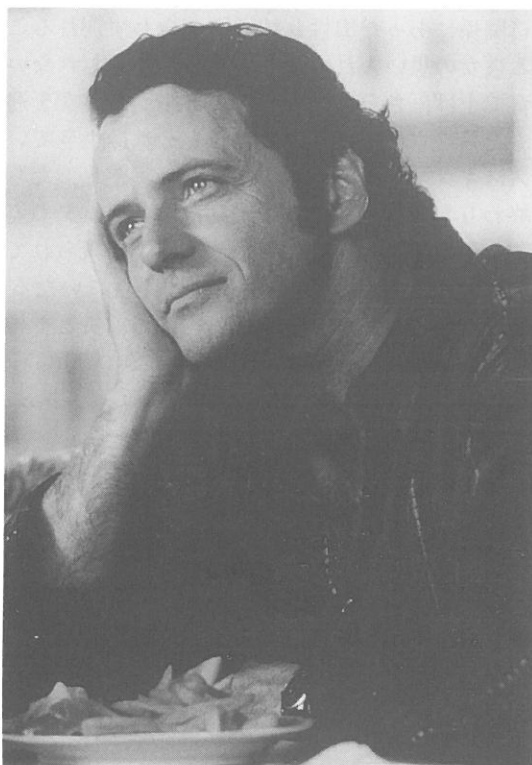
「[n] + [t] + 弱い母音」において [t] が脱落する。

単語の中に「[n] + [t] + 弱い母音」という連鎖がある場合には、しばしば [t] が脱落し、聞こえなくなります。そして、後に残された「[n] + 弱い母音」で、ナ行に近い響きになります。

- (例) 1. twenty [トゥワニー]
2. internet [イナネツ(ト)]
3. winter [ウイナー] (発音上は winner と区別がつかなくなります)

また、この現象は、1つの単語の中だけではなく、「[n] + [t]」で終わる単語の後ろに、母音で始まる単語が切れ目なく続く場合にも起こります。

- (例) 1. Two boys went out of [ウェナウラ(ヴ)] the house.
2. You can count on [キャウノン] me.
3. There's a bookstore in front of [フラナ(ヴ)] the building.



V. Post-Viewing

映画の冒頭の写真回想の場面をもう一度観て、ロベルタのこれまでの人生を推測してみましょう。また、友人らしきカップルと4人で写った写真を半分に破ってしまうのは何故でしょうか。

幼い頃からバイオリンのレッスン → () → ()
→ () → ()

コラム

「ロベルタ」

原作には映画以上に家族愛の主題が溢れている。いかにもイタリア的な大家族のもとに育ったロベルタは、若くして父の不慮の死にあい、自身も夫に捨てられるという経験をする。その後同棲関係にあった男性と結婚観が合わず別れることになる背景も、家族というものに対する彼女の思い入れの強さがあるのかもしれない。そうした欠落感が二人の息子を一人で育て上げ、さらにエルサルバドルから養女を迎え入れる原動力になったのであり、子どもたちのヴァイオリン教育にもそれは生きている。親の協力と家庭での練習を重視するスズキメソッドを彼女がハワイで実感し、たちまち心酔したのも偶然ではない。原作の終わり数章は二人の息子が見た母ロベルタの姿、および、ドキュメンタリーで重要な役割を果たすホセ一家の苦悩と家族愛が綴られている。ただ、原作の最後につけられた謝辞には教育関係からTV、映画関係者にいたる彼女の人生に関わったさまざまな人々の名が書き連ねられているが、そこに前夫とその後の何年かをともに暮らした男の名はない。